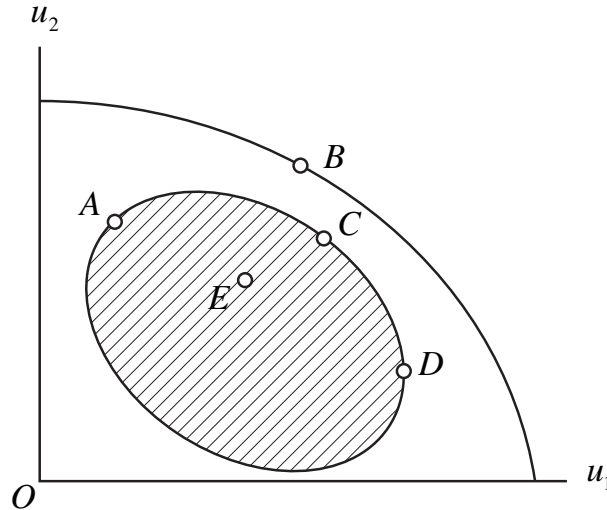


2013 年度 政策決定の政治経済学 (担当: 小西秀樹)  
学期末試験問題 (試験時間 60 分, 持ち込み不可, 70 点満点)

問題 1 図 1 は, 個人 1 と 2 の二人からなる経済において実現できる効用水準の組合せ  $(u_1, u_2)$  を表している. 点 B を通過している曲線は効用可能性フロンティアであり, 斜線部分とその周囲は政府の政策によって実現できる範囲を表している. 以下の設問に答えよ (各 5 点, 計 40 点).

【図 1】



- (1) 図 1 の点で, (制約のない) パレート効率的な資源配分に対応する効用の組合せはどれか, すべて答えよ.
- (2) 市場の失敗とは何か. 「パレート効率的」という用語を用いて, 簡潔にその定義を述べよ.
- (3) 政府が何もしないときには点  $A$  が実現されるとする. この経済では「市場の失敗」が発生しているかどうか, 図中の点を用いて理由とともに答えよ.
- (4) 市場の失敗が発生する原因として代表的なものを 3 つ, 具体例ではなく, 経済学の専門用語で簡潔に答えよ.
- (5) Besely と Coate による「政府の失敗」の定義を, 「パレート改善」という用語を用いて簡潔に述べよ.
- (6) 政府の政策選択の結果, 図中の点  $E$  における効用水準の組合せが実現したとする. このとき, (5) の意味での「政府の失敗」は発生していると考えられるか. 図中の点を用いて, 理由とともに答えよ.
- (7) 解答用紙に描えがかれた図 1 と同じグラフを使って, (5) の意味での「政府の失敗」が生じていないと考えられる資源配分に対応した効用水準の組合せをすべて網羅した範囲を, はっきりわかるように示せ.

- (8) 図1の点を例として用いながら、(5)の意味での「政府の失敗」の定義には、分配の公平性という点でどのような問題点があるか、簡潔に述べよ。

問題2 以下の設問に答えよ。(各5点、計15点)。

- (1) 「政治的コースの定理」とはどのような考え方か、内容を説明せよ。
- (2) 政策におけるコミットメントの欠如は「政治的コースの定理」の成立を妨げる1つの要因であると考えられる。コミットメントの欠如が引き起こす政治経済現象の例をあげて、「政治的コースの定理」が成り立たない事情を説明せよ。
- (3) いわゆる「捻れ(ねじれ)国会」は、「政治的コースの定理」に照らして考えたとき、マイナスの面とプラスの面があると考えられる。それぞれを簡潔に説明せよ。

問題3 以下の文章を読んで設問に答えよ(各5点、計15点)。

シグナリングモデルを用いて、選挙が無駄な予算の削減にもたらす影響を考察しよう。政治家には、現職、挑戦者にかかわらず、2つのタイプHとLがある。Hは利益集団と癒着しやすいタイプ、Lは癒着しにくいタイプである。有権者は外見からは政治家がどちらのタイプかを識別できない。何の情報もないとき、政治家がタイプLである確率を0.1とする。政治家が1期間政権をとったときの支配者レントはタイプにかかわらず1000万円、下野したときの利得はゼロである。一方、タイプHの政治家が歳出削減を1億円増やせば、追加的に100万円の政治的費用がかかるのに対して、タイプLの政治家の場合には、追加的に50万円の政治的費用がかかる。 $m$ はそのときの歳出削減額(億円)で、0か $\hat{m}$ のどちらかが選ばれる( $\hat{m} > 0$ )。有権者は、タイプLである確率の高い政治家に第2期の政権を任せたいと考えている。

ゲームのタイミングは、次の通りである。

- (i) Nature が第1期の現職のタイプ  $t \in \{H, L\}$  をランダムに選ぶ。
- (ii) 自分のタイプを知る現職が、第1期の歳出削減  $m \in \{\hat{x}, 0\}$  を選択する。
- (iii) 選挙が始まる。Nature が挑戦者のタイプ  $t \in \{H, L\}$  をランダムに選ぶ。
- (iv) 有権者が第1期の歳出削減額を観察した後、現職を支持するか、挑戦者を支持するかを決める。無差別なときは、有権者に名前が知られている現職が有利で、確率0.6で再選される。
- (v) 選挙の勝者が第2期の政権をとり、第1期と同じ支配者レントを手に入れる。

なお、政治家の持つ割引因子は0.8であるとする。

- (1) タイプLの現職だけが再選される分離均衡が実現するときの $\hat{m}$ の最大値と最小値を求めよ。
- (2) どちらのタイプの現職も再選を果たしうる一括均衡が実現するときの $\hat{m}$ の最大値を求めよ。
- (3) (1)および(2)の結果にもとづいて、選挙が持つ「選抜」効果と「動機付け」効果の観点から、分離均衡のメリットとデメリットを一括均衡と比較しながら答えよ。